

# ピョートル・ アンデルシェフスキ バッハ《平均律》リサイタル

鍵盤の詩人にして思索者アンデルシェフスキが14年の歳月を経てついに紀尾井ホールに還ってきます。プログラムは満を持してのバッハ《平均律クラヴィア曲集第2巻》。音と調性による対話と呼応の連鎖がひとつの大きなドラマを形作ります。

ピョートル・アンデルシェフスキ(ピアノ) ———  
Piotr Anderszewski, *piano*

バッハ  
平均律クラヴィア曲集第2巻より12曲  
The Well-Tempered Clavier Book II

《前奏曲とフーガ》

第1番ハ長調 BWV870	第7番変ホ長調 BWV876
第12番ヘ短調 BWV881	第16番ト短調 BWV885
第17番変イ長調 BWV886	第9番ホ長調 BWV878
第8番嬰ニ短調 BWV877	第18番嬰ト短調 BWV887
第11番ヘ長調 BWV880	第23番ロ長調 BWV892
第22番変ロ短調 BWV891	第24番ロ短調 BWV893

※本公演には休憩がございません。  
開演時刻に遅れますとご入場いただけない場合がございますので、  
お時間に余裕をもってご来場ください。

2021年

11月13日(土)

紀尾井ホール

16時開演(開場15時15分/終演17時30分予定)

チケット料金(税込)

S席 8,000円 A席 5,500円 U29 A席 2,000円

チケット発売日

2021年10月13日(水) <紀尾井友の会優先発売>

2021年10月15日(金) <一般発売>

※両種ウェブチケットのみ取り扱い:午前0時~

チケットURL

<https://kioihall.jp/tickets>



※U29は公演当日に29歳以下の方を対象とする割引料金です。詳しくは紀尾井ホールウェブサイトをご覧ください。

※曲目は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。

※乳幼児等未就学のお客様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※不足の事態で公演中止となる可能性があります。その場合はWebサイトにてお知らせいたします。

やむを得ない事情により公演中止となる場合には、チケット購入者に、券面表示金額にて払い戻しいたします。

手数料等の払戻しはございません。また公演中止以外での払い戻しはいたしません。予めご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、座席数を減らして販売します。状況が改善した折には空席としていた座席を追加販売いたします。

# ピョートル・ アンデルシェフスキ RECI TAL バッハ・リサイタル



## 時はきた—アンデルシェフスキ、満を持しての平均律

目下壮年期を迎えた世代のピアニストの中でも、傑出した存在として世界的に評価が高いピョートル・アンデルシェフスキ。卓越した技巧の持ち主であるのは言うをまたず、かつ華美な演奏効果を前面に押し出す類の作品には目もくれず、高度な思索性を湛えた音楽作りを貫く徹頭徹尾真摯な姿勢という彼の個性は、“孤高の音楽家”としてのイメージをも醸成し、多くのファンを魅了しています。

その鍵盤の詩人にして思索者アンデルシェフスキが14年の歳月を経て、ついに紀尾井ホールステージに帰還します。待望の復帰リサイタルで彼が披露するのは、「音楽の旧約聖書」とまでに讃えられるバッハの傑作《平均律クラヴィア曲集》第2巻。2018年の来日でも3曲を披露し絶賛されました。今回はいよいよその全24曲の中から、彼自身によって選ばれた12曲を独自の配列でお聴きいただけます。

年齢的にも、今最も充実の時を迎えたアンデルシェフスキ。その透徹したピアニズムに紀尾井ホールの豊かなアコースティックが相俟って、その真価がいかに発揮されます。12曲すべてを聴き終えた時には、深々とした感動に包まれるに違いありません。奇蹟の瞬間をご一緒しましょう。

### ピョートル・アンデルシェフスキ(ピアノ) Piotr Anderszewski, piano

1969年ワルシャワ生まれ。現代を代表する傑出した音楽家のひとりとして際立つ存在感を示しており、ウィーン・コンツェルトハウス、ベルリン・フィルハーモニー、ロンドンのウィグモア・ホール、ニューヨークのカーネギー・ホール、アムステルダム・コンセルトヘボウなどから繰り返しリサイタルに招かれている。またソリストとして、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、シュターツカペレ・ベルリン、ロンドン交響楽団、パリ管弦楽団、バンベルク交響楽団、シカゴ交響楽団、ブダペスト祝祭管弦楽団などと共演。スコットランド室内管弦楽団、ヨーロッパ室内管弦楽団、カメラータ・ザルツブルクをはじめ、オーケストラを弾き振りする機会も数多い。日本のオーケストラでは、これまでにNHK交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団などと共演している。

録音では、1995年にムローヴァとのデュオでデビュー、99年にはソロアルバ

ム・デビューし、2000年よりワーナー・クラシックス/エラート(旧:ヴァージン・クラシックス)と専属契約を結び、これまでに約20枚をリリース。それらはル・モンド・ド・ラ・ミュージックのショック賞やエコー・クラシック・アワード、グラモフォン・アワード(器楽部門)、BBCミュージック・マガジン年間最優秀レコード賞、グラミー賞ノミネートなどどれも極めて高く評価されている。特に本公演でも演奏されるバッハの《平均律クラヴィア曲集 第2巻》アルバムは、『グラモフォン』誌のピアノ部門で2021年年間最優秀賞に輝いている。

その他、強烈かつ独創性に溢れる演奏を称えられ、4年に1度だけ卓越したピアニストに与えられるギルモア・アーティスト賞をはじめ、シマノフスキ賞、ロイヤル・フィルハーモニック協会器楽賞などの名誉ある賞を授与されている。

著名な映像作家ブリュノ・モンサンジョン監督による、アンデルシェフスキをテーマとした3つのドキュメンタリー・フィルムもよく知られ、2016年には、彼自らカメラを回し、自身の故郷ワルシャワとの関わりを解き明かす音楽ドキュメンタリーフィルム"私はワルシャワ"を制作した。

## アンデルシェフスキの、バッハの平均律クラヴィア曲集の特征的で創造的なアプローチ

「私は、時には重要な関係に基づいて、時にはコントラストに基づいて、自分の主観的な選択のシーケンスに作品をまとめることに決めました。この特定の順序の背後にある考え方は、サイクルを示唆するドラマの感覚を作り出すことです。12人のキャラクターが互いに会話し、互いにミラーリングします」(アンデルシェフスキ)



### ピョートル・アンデルシェフスキ(ピアノ) J.S.バッハ:平均律クラヴィア曲集第2巻より【輸入盤】 英国グラモフォン賞 2021 「ピアノ部門」受賞

収録曲: J.S.バッハ: 平均律クラヴィア曲集第2巻より～プレリュードとフーガ  
第1番、第7番、第8番、第9番、第11番、第12番、第16番、第17番、第18番、  
第22番、第23番、第24番(曲順不同) 9029.511875 オープン価格

好評発売中!!

モーツァルト: ピアノ協奏曲第25番、第27番  
¥2,860(税込)/WPCS-13746

モーツァルト: ピアノ協奏曲第24 & 21番  
¥2,200(税込)/WPCS-12983

モーツァルト: ピアノ協奏曲第17番 & 第20番  
¥2,200(税込)/WPCS-12988

バッハ: パルティータ第6、3 & 1番  
¥2,200(税込)/WPCS-12984

バッハ: イギリス組曲第6番  
/ ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第31番、他  
¥2,200(税込)/WPCS-12986

バッハ: イギリス組曲集～第3、1、5番  
¥2,860(税込)/WPCS-12882

